

令和7年度 輸送の安全に関する目標および行動計画

目 標 ・自動車事故報告規則 2 条に規定する事故(重大事故)件数 ゼロ  
・人身事故 0 件 ・物損事故 0 件

安全重点施策 ①車内事故防止の徹底 ②乗務員の運転時間の管理徹底

＜輸送の安全に関する計画＞		＜短期重点実施事項＞	
安全に関する各種交通安全運動への積極的参加、各運動、キャンペーン期間中における事故防止運動を展開し、輸送の安全性の向上を目指します。		4月	子どもと高齢者との事故防止 / 危険を予測 徐行運転
① 安全に関する運動への積極的参加 交通安全運動 / 年末年始の輸送における安全総点検 健康増進強化月間 / 飲酒運転撲滅運動 / シートベルト着用推進運動		5月	交差点を含む右左折時の事故防止 / 指差確認の徹底
② 安全に関する指導強化 経営トップによる点呼時の立会査察・添乗立会査察実施 初任運転者・事故惹起者への実技訓練を含めた個別指導、適性検査の受診 運転者の経験、車種毎における技術・知識向上のための指導監督 危険予知トレーニングシート、ドライブレコーダー、デジタコの記録の活用 非常事態発生時の事故対策(車両火災、事故、テロ)として外部研修への参加 感染症対策、健康診断、脳ドック等の実施		6月	後退、車線変更時の事故防止 / 目視による安全確認
③ 運転保安に関する業務の充実強化 「ヒヤリ・ハット」情報の収集と活用 / 指差呼称による日常点検実施の徹底		7月	過労運転防止 / 十分な休息時間の確保
＜輸送の安全に関する教育及び研修計画＞		8月	追突・接触事故防止 / 安全車間距離の保持
管理者に対する教育		9月	非常事態発生時の事故防止 / 緊急連絡体制の周知徹底
① 安全統括管理者による点呼立会査察後の指導 バス協会主催の「安全輸送講習会」の受講 デジタコの取り扱い方、及び記録を活用した教育方法の習得 安全マネジメント活用講座の受講 乗務員に対する教育		10月	早めのライト点灯
② 自動車事故対策機構の適性検査の受講と活用 安全統括管理者による乗務添乗査察後の指導 デジタコの記録を活用した安全教育の実施		11月	感染症・インフルエンザ対策
		12月	日常点検推進運動
		1月	スリップ事故防止 / チェーン装着方法と安全速度の理解
		2月	シートベルト着用アナウンス強化
		3月	ヒヤリ・ハット情報の共有と事故防止対策
		＜輸送の安全に関する経費概要＞	
		安全教育費(一般診断、適齢診断等)	20, 000 円
		運輸安全マネジメント費用	18, 000 円
		貸切バス適正化事業負担金	100, 000 円
		消火器・発炎筒購入費用	80, 000 円
		一般健康診断	70, 000 円
		脳ドック検査費用	35, 000 円
		運転経歴書取得費用	4, 000 円
		安全表彰経費	100, 000 円
		感染予防対策	100, 000 円
		総額(車両代替費除く)	527, 000 円

花 北 営 業 所	＜人員体制に係る情報＞		＜保有車両に係る情報＞								
	運 転 者	6 人	車 両 数		年 式 (西 暦)		平均 車 齢	ドライブレコーダー 搭載導入台数	デジタル式運行 記録計導入台数	ASV 搭載 導入台数	主な 運行形態
	運 行 管 理 者	3 人			最 古	最 新					
	運 行 管 理 補 助 者	3 人	大 型	2 両	1994	1998	28	2	2	0	学校・企業送迎
	整 備 管 理 者	2 人	中 型	3 両	1994	1999	28	3	3	0	学校・企業送迎
	整 備 管 理 補 助 者	1 人	小 型	1 両	1996	1996	29	1	1	0	学校・企業送迎

＜初任運転者に対する安全運転の指導について＞				初任運転者の適正、経験等を踏まえ、教育指導を実施します			
初任運転者に対する特別な指導内容				【座学】	10時間以上	【指導員】	運行管理者
「自動車運転事業者が事業用自動車の運転者に対して行う一般的な指導及び監督の実施マニュアル」に基づき、指導を実施							
① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項							
② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法							
③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項							
④ 危険の予測及び回避							
⑤ 安全性の向上を図るための装置を備える貸切バスの適切な運転方法							
⑥ ドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正							
安全運転技能				【実技指導】	20時間以上	【車種区分】	大型車
				【指導員】	乗務経験10年以上の運転手、または安全統括管理者より任命された運行管理者		
				【実施日程】	入社日より運転者として選任される日までの期間		
車両に慣れさせるとともに、実際に走行する経路、かつ目的(下り坂、隘路、夜間走行、高速道路等の状況)に合わせた運行経路を選択し、実技指導を実施							
指導内容	発進前・・日常点検、点呼、身だしなみ、運転姿勢				運行経路例	① 一般道(運行頻度が高い) 車庫 ～ 盛岡方面	
	走行・・車間距離、状況に応じた安全速度等					② 一般道(下り坂、上り坂、曲がり路) 車庫 ～ 一関方面	
	交差点・・減速、一時停止、安全確認、右左折時の軌道、オーバーハングへの注意					③ 一般道・高速道(山間区間、高速道路) 車庫 ～ 遠野方面	
	停車・・急停車の有無、ブレーキ操作、エンジブレーキの使用等					④ 一般道(市街地、隘路) 車庫 ～ 北上市、花巻市内	
	後退・・後方の安全確認、サイドミラーでの確認、目視確認等					⑤ 一般道(下り坂、上り坂) 車庫 ～ 西和賀方面	
	運転操作・・ハンドル操作、ペダル類の踏み方、変速操作、方向指示器等の扱い等					⑥ 一般道(夜間) 車庫 ～ 釜石方面	
乗務後・・ 点呼、運行状況の報告							

以上をもって安全マネジメントにおける目標と計画の策定と方針の提起とする